10月26日 水曜日 25日発行
昭和30年 西暦1955年
内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番
第3259号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報條内台警字第0136号)

天気予報
今晩 北よりの風一時雨。
明日 北のち東よりの風曇り雨、海上は風波高い。

日出	5.56
日入	4.54
月出	1.43
月入	0.21
満潮 前	0.10
満潮 後	1.35
干潮 前	7.00
干潮 後	8.20

(若潮)

挙党『準備会』参加を決定

自由党両院議員総会

【写真は自由党の緊急総務会、向って正面中央大野総務会長、その左石井幹事長、右は佐藤栄作氏】

自由党は二十五日午後一時すぎから平河町の党本部で両院議員総会を開き、新党準備会に挙党参加するとの党の態度を正式に決めた。同党はこれに先だち午前十一時十分から平河町の党本部で緊急総務会を開き、石井幹事長から四者会談の経過と二十四日の民自幹事長会談の結果を聞き、保守合同問題について態度を協議した。この結果、同日午後一時からの両院議員総会の決定に基づき全員新党結成準備会に参加、二十七日の同準備会結成総会に臨むことを決めた。また準備会の世話人約五十名および幹事長、総務会長以外の常任世話人五名の人選も党三役に一任することを満場一致で決めた。

両院議員総会では石井幹事長から保守合同の経過報告と党内外の情勢について説明があり、挙党新党準備会に参加すべきであるとの提案が行われた。また緒方総裁からは準備会に臨む自由党の態度と総裁公選に対処する決意が述べられた。これに対して合同慎重派から質問があったが、結局解党、合同、総裁公選を再確認して満場一致で準備会に参加することに党議を決定した。これにより保守合同問題は大きく前進、二十七日新党準備会結成により総裁公選と政策問題に焦点をしぼって民自両党の折衝が行われることになった。

民自両党世話人顔ぶれ

民自両党は二十四日の岸、石井両幹事長会談で決まった新党準備会に設けられる常任世話人の人選についてそれぞれ検討しているが、民主党は二十五日の総務会で決める運びである。いまのところ両党の世話人はつぎのような顔ぶれが予想されている。なお民主党岸幹事長、三木総務会長、自由党石井幹事長、大野総務会長の四役は常任世話人のメンバーには入らないが、常任世話人会には出席できることになっている。

△民主党＝清瀬政調会長、大麻国務相または三木運輸相、石橋通産相、河野農相、芦田最高委員、三好英之氏ら。

△自由党＝水田政調会長、犬養健、林譲治、松野鶴平、池田勇人氏ら。

反収が基準

閣議了承 本年産米の課税方針

河野農相は二十五日の閣議で米の反当り収穫量に応じて課税する方針を説明、閣議の了承を得たので次回の閣議までに大蔵農林両省間で折衝し、具体案をきめることになった。

本年産米の税金について地方農村に供出量に応じて課税されるとの噂が伝わり、予約買付けに応じ供出すればそれだけ税金が多くかかることになるとしてヤミ売りに流れる傾向が強くなってきた。このためさらに予約集荷を活発化するため、課税方針を明確にする必要が生じたので農林、大蔵両相の間で話合いをした結果、意見が一致し、下部機関の閣議で正式にきめ、来週を通じ農民に主旨を徹底さすことになった。

栄典制度再検討へ

根本官房長官は二十五日の閣議で文化勲章受章者決定に関連して栄典制度全般について次のように発言、各閣僚ともこれに同意した。

現在の栄典制度は文化勲章、各種褒章を除いて殆んど実情にそぐわなくなっているので根本的改正の必要がある。保守合同ができ政局が安定したら、民間人からなる栄典制度審議会(仮称)を設けて検討しできれば通常国会に栄典法案を提出したい

三木運輸相 閣議で行管に抗議

国鉄経委問題

三木運輸相は二十五日の閣議で、さきに行政管理庁が国鉄経営に不合理な点が多いことを指摘したことに対し、行管が運賃値上げについて触れたことは行過ぎであり、また減価消却について行管と運輸省ではその年限について食違いがあると川島行管長官に抗議した。

これに対し川島長官は森政務次官と岡松行政管理庁監察部長が国鉄の経営委員会で説明したものが漏れたものであり、行管が積極的に発表したものでないと発言、了解を求めた。

国連憲章調印十周年記念式

【ニューヨーク二十四日発UP＝共同】国連は二十四日国連憲章調印十周年記念日を迎え、ハマーショルド国連事務総長は故ルーズヴェルト大統領夫人とともに同市公会堂で開かれた記念式典に出席。

基本方針で意見一致

三国外相会議で声明

【パリ二十四日発ロイター＝共同】米英仏三国外相は二十四日午後の会議終了後共同コミュニケを発表、その中で、三国外相はジュネーヴの四国外相会議に当って西欧側が打ち出す政策の一般的な方針および北大西洋条約(NATO)理事会で討議する一般的な政策について完全な意見の一致に達したと述べた。なお西独のブレンターノ外相は二十四日の会議に中途から参加した。

西欧同盟に委任か

仏独外相協議 ザール問題の解決

【パリ二十四日発UP＝共同】ブレンターノ西独、ピネ仏両国外相は二十四日夜パリで、三国外相会議が終った直後ザール問題について会談した。この会談後西欧筋はザール問題の解決は西欧同盟の手にゆだねられることになるかも知れないと語った。

後継首相にヴェルシュ氏

【ザールブリュッケン二十四日発ロイター＝共同】ザールのホフマン首相は二十四日閣僚およびキリスト教人民党の支持者達と会談、二十三日の住民投票の善後措置について協議した。ホフマン内閣はザール欧州化否決が明らかになった二十三日……

ヴェルシュ氏

欧州かけある記

近藤天 ⑪

ニース・カンヌ・モナコ

シーズンは過ぎたが映画そのままの美男美女……

写真はニースの海岸風景

南仏のニースはブラジルのリオ・デ・ジャネイロに似た明るい避暑避寒地で、文字どおり全世界の富豪があつまる。この間は英国の前宰相チャーチル卿夫妻が、悠々と絵を描きにやって来た。

映画祭で有名なカンヌはニースから西へバスで約一時間半、ここも避暑避寒地として名高い。カンヌも海岸に沿って大ホテルが並んでいるが、飛行場があって、カンヌやモナコへ行く空の足だまりにもなっている。

◇

海岸は砂浜で、水着やショートパンツの若い男女がたわむれている。ちょうどフランスの地中海艦隊が六、七隻入っていて水兵でにぎわっている。横須賀を思わす港町だが、見事なのは豪華けんらんたる遠洋航海用のヨットが所せましとならんでいる光景だ。やはり世界の富豪の息抜き場所らしい。インドシナの孤児バオ・ダイ……

人や、金のありそうな老人連が海岸のデッキチェアで陽光を楽しんだり、元気なのは泳いだりしている。小石の浜辺に沿ってプロムナードが続き、プロムナードには豪勢なホテルが……

金持族の遊び場

ルーレットに賭ける人生

26日自由党 27日社会党

松本全権が説明

政府は二十五日の閣議で自由党および社会党に対し松本全権から日ソ交渉を行う件について説明した結果、自由党に対しては二十六日午前十時から渋谷松濤の公邸で緒方総裁、党三役、外相に対して報告を行い、社会党に対しては二十七日午前院内で鈴木委員長、浅沼……じめ七役七局長に報告することになった。

八幡向け世銀借款あす調印

【ワシントン二十四日発＝共同】八幡製鉄所の五百三十万ドルの世界銀行借款協定は、二十五日午後三時(日本時間二十六日午前五時)世銀理事会で承認され、そのあと午後……(日本時間二十六日午前六時)……

粋人酔筆

隕石異変

石黒敬七

財界春秋

乗っ取り王の晩節

三鬼陽之助

市況 活気薄

東京株式仲値 (25日前場終値)

二日内に発表か

マーガレット王女結婚

【ロンドン二十四日発UP＝共同】

内外抄

青春無宿

大林清
下高原健二 画
(168)

黒い死 (三)

地獄部屋

囚人が暴露したメキシコ監獄の実態

メキシコの選挙騒動の群衆を街頭で見ていたベナルドという男が、選挙違反と間違えられて投獄された。ところが彼は余りにひどい監獄なのにびっくりして日記をつけ始めたが驚いたことに、いつ出獄できるか判らないような状態なので、面会に来た妻に頼んで日記をアメリカの雑誌に発表した。これが大問題となり、写真班も訪れて監獄内を小型カメラで撮影、初めてメキシコの監獄の実相が明らかにされ、彼も漸く最近釈放された。以下はその日記の全訳である。

飲料バケツに糞尿　悪臭に二度も嘔吐

七月十九日　捕えられて十三日目だ。俺の釈放は時間の問題だと思っていた。彼等は神と政府の怖ろしいことを私に教えようとしているのだと思っていた…環境は信ずることの出来ないほどひどい。監房は九メートルに十二メートルの広さ。その中に我々十四名が入っているのだ。ヒザを立てて座れば他人の背中にぶつかり、頭は重ならねばならぬ。一つだけ中に便所があるが、それも水洗ではないのだ。最初の数日で私は悪臭のために胃痛を覚え、一時間毎に吐いた。しかし今では少しよくなった。今日は二度吐いただけだ。俺達は一日に一度バケツを使って便所を汲み出さねばならぬ。それから彼等はそのバケツに飲料用の水を汲んで入れてくれる。しかもそのバケツを洗いもしないのだ……。

七月二十日　金さえ持っておればここでは煙草も、サンドウィッチも、新聞さえも買うことが出来る。俺は鉛筆と帳面を買ってこの日記をつけ始めた。俺は手紙を家に出そうと思って同室の囚人に相談したんだが、その男のいうには『手紙を書いて金を渡して看守に頼んでも、金だけ取って手紙はそのままさ』といわれたので止めてしまった。俺は靴の中に十五ペソ隠して来たが、帳面に十ペソ、鉛筆に三ペソ取られて、二ペソしか残っていない。もしこの日記が発見されたら独房に入れられるそうだ。

美人王国　神田ミナト

リンチ、首にナイフ　恐るべき部屋の〝掟〟

×月×日　今日が何月何日か判らなくなった。食事がまずくて病気になった。毎日同じ食事。米とトウガラシと豆を混ぜて煮たもの。それが空罐に入っている。診療所などは金さえ出せば別に立派な病院があるという。ほとんどの囚人が終身懲役である。彼等には日や月や年などは問題ではない。

八月十四日　医者に聞いたら俺は八月四日に病気になったのだそうだ。十日間診療所に寝ていたわけだ。まだ退院出来ないのだが、患者が多すぎるのでまた部屋に戻された。

九月十五日　同室の囚人が看守に三十ペソやって麻酔煙草を一本手に入れた。マックス・コスマンは注射専門だ。ジュアンが麻酔煙草を一口吸わせてくれたが、俺は目まいがした。

九月十七日　昨夜ひどい目にあった。ジュアンが三本目を吸い終った時看守がやって来た。その男はクンクン鼻をいわせて『誰が喫ったか』と詰問した。が誰も知らぬと頑張った。一人ずつ取調べられたが、ティーン・エイジャーのローベルトが調べられた後、取調べは打ち切られた。今日眼が覚めてみると、傍に寝ていたローベルトが首にナイフをつき刺されて死んでいた。これが部屋の掟だった。いま夕方だが忙しいのか看守は死体を片づけない。一人の看守が通りすがりに笑いながら『生前はだいぶ可愛がってやったようじゃないか。供養してやれよ』といった。

新聞紙敷きつめて　妻と面会、欲情満す

十月八日　三週間何も書かなかった。ローベルトが殺された翌日の騒ぎの最中、誰かが鉛筆を盗んだからだ。誰も白状しなかったので俺達はもっと狭い囚房に分けられた。五人が四メートル立方の部屋。立つことも出来ない。窓も水も便所もない。便はそこに垂れ流した。俺達はそこに十日もいた。今日は面会日。二十ペソ払うと誰でも独室で会うことが出来る。妻のマリヤが来た時言葉が出なかった。妻に二十ペソを出してもらって、俺は生れて初めて汚い場所で本能を満足させた。その床には誰が使ったかわからぬ古新聞が所狭しと歴戦の跡を示していた。妻が『どうしたのよ。こんなところで?』と聞いた時、俺は一言もなかった。妻は帰りに鉛筆を置いて行った。

房内で大喧嘩、殺人沙汰　金次第、テレビもみれる

七月二十五日　毎日午後に十五分間だけ俺達は部屋から外に出してもらえる。今日はその時に大きな喧嘩があった。十二名のギャング共が一人の男を『頭のよい私生児』と冷かしたからだった。看守が俺達全部を部屋に入れた時、俺はペドロにさっきの男のことを聞くと、ペドロは『彼奴がトロツキーを殺した男さ』といった。

七月二十九日　今日はとんでもないことを知った。俺はもっと広い部屋にかわろうと思ったのだ。それには相当の金をやらねばならぬことがわかった。看守に『今、金は持っていない』というと、彼は大声をあげて笑った。金のある奴は部屋を独りで占め、カーペットを敷き、テレビさえ持っているとのことだ。そんな奴がここに三十人もいるそうだ。ひどい奴は下男さえ連れて来ている…。『出る』自由を持たぬだけだ。

出獄を嫌うアメリカ人、二人を殺している男、日光浴を楽しんでいる

鉄扉の下へ、爪でアナ掘る

十一月十二日　面会日。妻が俺にヨセ・アレラノ・カスツロという囚人に会う手筈をしてくれた。役人の話ではこの男は今までに三百十二人を釈放したそうだ。俺は第三百十三番目の男になる!

十一月十七日　カスツロに会った。しかし結果は悲観的。俺の監獄記録には『部屋に対し不平ばかりいっている』とか『麻酔煙草を喫っている』とか『ローベルトの死の調査に非協力』とか書いてあるそうだ。カスツロの話では『皆ここを出たがっているのに、一人出たくない男がいる。二人の男を殺したアメリカ人で、ここを出ると米本国の電気椅子が待っている』そうだ。

……楽観主義者になるものだ。

十二月十一日　十二月二日以来また独房…。俺の部屋に同性愛者がいて、夜になると変なことをする。それが看守に見つかり、皆外にひき出されて独房に入れられた。独房の鉄扉の下に小さな穴があけられているが、それは永年数千人の囚人が爪であけたのだという。ここから手を出して通る人に煙草をねだるのだが、俺も手を出したら、煙草の代りに嫌というほど、看守に靴で両手をふみつけられた。

二十ペソを持って夫との逢瀬を楽しみに一週一度イソイソと監獄を訪れる妻をコッソリ撮影

夫婦で入獄、子供は孤児院へ

十月九日　入獄以来三ヵ月目に初めての食事を食った。野菜スープ、スパゲッティ(西洋うどん)コールド・ハム、ポテト・サラダ、ビフテキ、クリーム付きイチゴ及びコーヒー二杯だった。俺は昨日もらった五十ペソを看守に渡したのだった。俺は爽快になった。人間は満腹すると……

十一月二日　今日フェリッペと長い時間話した。彼は宝石強盗で妻と一緒に入獄した。子供が牢で生れて二才半。子供は三才になると監獄から出て孤児院に入らねばならぬ。女囚部屋はここから歩いて三分位の所だが、夫婦で入獄した者は面会禁止。あと半年すると子供が孤児院に行くので、この親子は一生会えないのだ!

ついに絶望の終身刑か!

十二月二十一日　弁護士から何もいって来ないが、俺は希望を捨てない。妻も外部で努力しているし、救いの手の来ることを信じている。

一月十二日　俺の反抗的態度が直らない限り俺は絶対に外に出られないそうだ。俺に対する評価は実に一方的である。彼等の書く監獄記録によって、俺の刑期は数ヵ月または数年も延びるのだ。

一月十四日　妻が来ての話では万事休す。

二月八日　皆で金を出し合って、三キロの古新聞を買って床に敷いた。これで暖をとり、しばらくは読物に困らないというものだ。

二月十日　弁護士が来訪。その話を聞いて俺は希望を失った。今後何年…いや、何十年、俺はここにいなければならないかわからなくなった。あるいは終身かも知れぬ……。

女囚監房

独房の鉄扉の下に作られた穴、ここから手を出して煙草を乞う、内部は暗黒

ズボンを誰かに盗まれた男、再配給はない、冬でもこのまま

あちらの社会面

モダン歳々記

湯女の誕生

『貞応二年十月二十六日、津の国小林というところに、湯あみんとてまかりて侍りし程、なれ遊び遊し遊女に、十一月九日小屋野より別るとて』と前書して『旅人の行き来の契り結ぶとも、忘るな我を我も忘れじ』という歌が藤原光経集にある。貞応二年は鎌倉時代で、このころから温泉場に遊女即ち湯女のいたことがわかる。

戦争の多かったこの時代には、温泉が大事な傷養生の場所となっていて、負傷兵が山間の温泉に湯治に集ったらしい。それで血気さかんな兵士達のためには、介抱役の女達も別のサービスをせざるをえなかったろう。

参考保元物語によると、源為朝も、湯治中に油断して生け捕られ、佐藤忠信も傷養生中に契った湯女の変心によって斬り殺されたという。後世ではあるが、斎藤利三も山崎合戦で負傷し、江州堅田の温泉宿で捕えられた。

加賀山中温泉ではシシ、越後湯谷温泉ではヒサクと娼婦のことをいった。そういう言葉はきっと古い時代の湯女の俚称に違いない。彼女等は私娼というよりも公娼として活躍していたので、江戸時代の湯女の先祖に当るわけだ。(鮭)

風流世界譚

……(日本)……

世の女房族はノイローゼにかかっています。亭主は必ず浮気をするものときめ夜の帰りが遅かったり日曜日に一人で出掛けたり、会社の仕事で出張したりすると、もう亭主が紅白粉をつけた女の膝に寝ながら眼尻を下げている有様を想像して、いても立ってもいられなくなるらしいです。亭主にいわせると、安い給料でアクセク働いているんだから家計のヤリクリは大変だろうが、たまには夕化粧でもしていてくれれば一汁一菜の夕食もうまい。ヤキモチ焼くよりその方に神経使ってもらいたいと愚痴も出ます。内外商事の皿利君の奥さん女子大出身の美貌を鼻にかけ、中学校出身の旦那様を箸の上げ下しにケイベツしますが、『きょうは残業だよ』と断って出た日など眼は釣上り、食事など出来ない有様。

ある日新聞に旦那様の肉体の一部を切ったという事件が載せてあるのを読んで思わず『まあなんてこの人ヤキモチ焼だろう、これじゃ旦那様は可哀想だわ』

あすの運勢　高島象山

＝十月二十六日＝

◇お断り『風流交番日記』本日休載

青とかげ(109)　野沢純　土端一美画

東海毒婦伝　江戸の八巻(二)

『旦那も、ひどうござんす……あっしらを臨時雇いで、尾張屋……足にこき使って、……千両箱を担ぎ出させ……』

……与次郎はイヤ味たっぷり……

『……ちとらはまるでバァだ』

『……』

『こんな間尺に合わねえ話しはあ……』

……の方が、ぐっとばかり睨しの間才シになった。

そのさまを見て、にやりと笑った源十郎。

『……りゃァしねえ。考えてもみてごらんなせえ。大地震のどさくさまぎれに、強盗沙汰も、あのままうやむやになってしまっちゃァいるものの、あの時の証拠をつかんで、お恐れながらと訴え出りゃァ、一体どういうことになりやしょうかねえ?』

『……』

『え、旦那?』

『……』

『どういうことになりやしょう?』

『……』

『十両盗りゃァ、首がとぶといわれた時代もあるんだ。ましてや千両、幾万両だ。そいつを奪った押込強盗の、張本人とわかってみりゃァ、お上もただじゃァおきますめえ?』

『……』

『早え話しが、三尺高え木の空で、首を曝され、安房や上総の山々を、遠く眺めなけりゃァならねえ身の境涯とは、お考えになりゃせんでござんしょうかね?』

『……』

『え? もしえ旦那、坂崎の旦那――いやさ源十郎さん。ツンボかオシにおなんなすったか? 耳と口がおあんなすったら、何とか返事をしてみちゃァどうでござんす!』

額ごしの上目づかいに、源十郎

『あの夜の張本人は、たしかに俺だ。お前も同類にゃァ違えねえが、訴え出りゃァお前も同罪。だがこの坂崎は押入強盗たァ、いささかばかりワケが違うぜ。いやしくも天下の護国浪士団、天朝の兵を起すための軍資金として、堂々と徴発したまでよ。この屋敷だとて、同志を集める仮のねぐらなら、金ももとより、俺一人の物じゃァねえ。事を起すための同志の金だ。それがどうした? 文句があるか? こっちは大義名分を立てているんだ。いやさ、それが解ったら出直して来い。今日はせっかく出あったからには、昔のよしみで、当座のしのぎくれえは呉れてやろう』

いいながら、懐ろをさぐって、摑み出したのは小判で五両。

チャリン! とタタミへ投げ出して、

『また来る時には、覚悟で来いよ』

立て続けに、木ナシの幕を引かれた形で、茫然と黙ってしまった与次郎だ。与三郎ならぬ、一ちょう下の与次郎だけに、棒が一本足りないばかりか、どうして役者が一枚違う。

(まずいじゃねえか――)

出て来た時の勢いは、どこへやら、押し出し悪く引きさがるよりほかはない。

口にくわえた筆で金的

両手のない尼僧が喜びの日展初入選

大阪堀江 殺傷事件生残り

かつては金語楼とドサ回りも

芸一筋 貫いた波乱の40年

二十四日、第十一回日展の書道部の入選者が発表され、入選者の中に両手のない不自由を克服、口にくわえた筆をもって漢字を出品、見事初入選の栄冠をかちえた老尼僧がいた。京都仏光院の大石順教さん(六五)である。大石尼僧はかつては大阪堀江の芸者として鳴らし、数奇な運命を背負って仏門に入った人だが、日本犯罪史上にもまれな大阪堀江の六人殺し事件（明治三十八年）のただ一人の生き残りで、ひところは落語の柳家金語楼さんとともに"両手のない芸者"を売りものに、関東、東北の寄席を回って口にくわえた筆で絵を描き客の拍手を浴びた高座の花形でもあったのだ――

くわえた彩管で絵も自由自在の順教さん

○…大石順教尼僧の本名は大石よねさん、寿司屋の娘だったがすぐ大阪堀江の芸者屋山海楼からお酌の"津満吉"の名でお座敷に出た。持ち前の美貌とどことなく人をひきつける魅力、そして『ひとのできることが自分にできない皆はない』という負けん気がいつか花街の人気者にしてしまった。そんなあるとき、堀江の六人殺し事件（明治三十八年六月二十二日）が突発した。当時の模様を梅原北明氏の『近世社会大驚異全史』から借りよう。

○…『十日以来降り続きたる霖雨に人々欝陶しき頭の重きを覚ゆる頃、恐しき忌しき殺傷沙汰堀江遊廓の中に起りたり。然も加害者は同廓の顔利きにて議員の列に加わる者。被害者は同人の妻の母および弟妹と抱え芸妓二名となりき左にその顛末を列記せん』と、大要次のように事件を報じている。

加害者は北堀江上通三の一七七貸座敷業山海楼主人中川万次郎(五二)被害者は同人の妻小万こと雑魚谷あい(三七)の母おこま(五四)あいの弟安次郎(三〇)その妹すみ(一四)こまの兄中尾常助の長女きぬ(一七)、同家の抱え芸妓東店梅吉こと松本よね(二〇)紀ノ佐席津満吉こと大石よね(一七)の一家六人。万次郎はもと船頭だったが山海楼へ登楼するうち、そこの娘八重と馴染み遂に養子となったが、養母の死後芸者に狂って八重を追い出し、そのあとへ同廓中店の芸妓小浜をひき入れたが、のち養女にした小浜の姪の雑魚谷あいに恋い焦れ、小浜も追い出してあいと同棲しようとした。ところがあいは『叔母さんに済みません』となかなか意に添わず、家の中は風波が絶えなかった。凶行はそんなこんなのゴタゴタが続いたある雨の日の就寝中に行われた。一家五人が斬殺され、たった一人両手を切られて生き残ったのが津満吉こと順教尼僧だった。

合掌ができず　ままならぬ出家

○…二十歳そこそこの女―それも両腕がないということは何度か死を決意させるほどの暗い気持にさそい込む。順教尼は舞台を去ってから何回となく自殺を図ったが遂げられなかった。寿司屋を経営したが思わしくない。小僧に呉服を背負わせて呉服の行商をしてみた。これも思うようにはいかなかった。その後大阪のある住職にすすめられて山口草平画伯と結ばれた。男の子と女の子が生れた。今から三十余年前である。しかし、これも永くは続かなかった。離婚した順教尼は山口華紅女史として口に絵筆をくわえて作品の製作にいそしんだ。精神的な苦悩は芸術への没頭である程度は救われたがそれは総てではなかった。僧門へ入って光を見出そうとしたが合掌ができないという理由で断わられたこともある。

○…『信仰は手でするものか？心でするものか？』という悩みを解こうと高野山にこもった。高野山で勤めおえた順教尼は京都の仏光院に移って仏の道をひたすらにつき進んだ。心の落着きをとり戻した時、順教尼は『書』をはじめた。はじめたからには誰にも負けまいと日展へ何回か出品した。その度に落選した。しかし落選でくじける人ではなかった。そして遂に口で書いた書が日展入選という栄冠をかちえたのだった。

○…順教尼は事件後体が癒えてから上京、"腕なし芸者"として東京の寄席に出て細々と生活していた。高座での芸といえば『春雨』などの三味の音に合わせて口にくわえた筆で傘をさした女の姿を描いたりするもので、あまりうまいほどではなかったが、両腕のない、それも二十才そこそこの美しく飾りたい年頃の女が真剣に舞台ととっ組んでいる姿は見ていて涙ぐましいほどだったという。落語家の柳家金語楼さんが順教尼と知り合ったのはそのころで、彼が六才のときだった。金語楼が初めて高座に上ったのは、たまたま品川の寄席で出演者が遅れて舞台の穴があいたとき持ち前の器用を買われて、祖母が三味を鳴らしていた舞台へ穴うめとして落語を一席やらされた。それが当って金語楼は舞台人となったのだそうだが、順教尼もちょうどその舞台に出演していた。東北への一座の巡業も二人は一緒だった。二人とも字が書けないところから一緒に勉強した。当時の小学校の本を前にして仲よく『いろは』を学んだが、順教尼は本の頁をめくることができない。それを金語楼が横に座って手伝いながら、お互いに励まし合って勉学にいそしんだという。

カナリヤで悟り

苦心を語る順教尼さん

【京都発】大石順教さんは日展入選の喜びをつぎのように語った。十八才のとき旅回りの寄席の一座に入り、十八才のとき仙台で一ツガイのカナリヤを見てハッと悟りを開き[illegible]ました。口一つで物を食べ、かゆいところはクチバシでつついている。私もカナリヤになろうと決心して四十数年、筆を口にくわえて書道に精進しました。

川崎のダニ10名検挙

【川崎発】川崎市高津署は二十五日午前六時から二時間半にわたって中村署長以下制、私服警官二十八名が出動、市内に巣食う街のダニ一掃に乗り出し、暴行、傷害、器物毀棄、銃砲刀剣等不法所持の各容疑で少年二名を含む十名を逮捕、取調べた。同容疑で五名を任意同行、取調べた。彼らは川崎市内で無銭飲食や恐かつ暴行を働いていたもの。

金庫の45万円消ゆ

東横デパート目黒支店

二十五日朝八時半ごろ東急目蒲線目黒駅構内の東横デパート目黒支店一階事務室の金庫から現金四十五万五千円が紛失しているのを見回り中の保安係梶田久行さん(三〇)が発見、大崎署に届出た。調べでは合鍵を使って金庫の扉を開けたものらしく、内部の事情に精通した者の犯行ではないかとみて捜査している。

靴など30万円

窃盗少年を送検

浅草署では二十五日朝福島県生れ住所不定無職少年A(一九)を窃盗の疑いで送検した。Aはさる三月二十二日夜台東区浅草吉野町一の一六靴屋斎藤功さん(三六)方から靴その他五千円相当を盗んだほか本年春から四十件三十万円を働いていたもの。

また女生徒殴打事件

稲村ケ崎小 全治五日の傷負わす

【鎌倉発】鎌倉市立稲村ケ崎小学校（金子喜久勇校長）で先生が受持ちの女生徒をなぐり、負傷させ、憤慨した親が生徒を転校さすという事件が起った。さる十四日同校五年一組時田繁教官(三〇)=鎌倉市大町二二七〇=が教室で昼食の準備をせず、遊んでいた約三十数名の生徒をしかり、その罰として食事をさせず、教室のすみにたたせ、準備をしていた数名の生徒と食事をはじめたところ、一番前にたたされていた三品徳子さん(一一)=同市長谷一〇〇会社員武さん次女=が『生徒も食べないのだから先生も食べないで下さい』といった。カッとなった同教官は平手で徳子さんの左顔面を四、五回なぐったため、顔ははれあがり、くちびるが切れ全治五日の傷をうけたもの。

同校では一月二十八日にも女教員が授業中わきをみた女生徒をストーブの石炭かき棒でなぐり負傷させ、送検された事件があり、相つぐ不祥事件の発生に同校PTAで責任を追及している。

金子校長談　前の事件が漸やく解決したばかりなのに、また不祥事件を起し、なんとも申し訳ない。全責任は私にあり、三品さんには気の毒なことをしたと思っている。

舌先三寸でサギ行脚

衛生兵上りの ニセ医師捕る

板橋署では二十四日夜板橋区板橋八の二六三前科四犯内田医院々長内田一男(四三)を医師法違反と詐欺容疑で検挙した。調べによると内田は軍隊時代衛生兵をやった経験があり診察に多少の心得があるのを利用、昨年七月、前記住所に子供をかかえて生活苦の内田かよさん(三九)に『ぼくが医院を開業して生活を楽にしてあげる』ともちかけて入り込んだ。

さらに文京区本郷三の一薬医療器具店から産婦人器具八万円相当を詐取し、内田医院の看板を掲げ日大、東京医大の教授に呼びかけ福島方面にサナトリュームなどをつくることを計画したが失敗、自身自宅で診療を始め、さる四月十二日、板橋区板橋八の二六五斎木八重さん(三六)が『ムクミがひどい』と訪れたとき『肺炎だから注射しましょう』と診察をしないで注射し千円を請求、このため八重さんは病状悪化で現在も重体。

同様手口で現在までに五十人にでたらめな治療をしていた。内田はまた三月はじめ板橋区板橋一〇の五二〇農業藤田五郎さんの長男隆君(一九)が高校を卒業、医大に入りたいというので『どこでも好きな医大に入れてやる』と十万円を詐取したのをはじめ近所から医院拡張と称し三十万円を詐取したほか同区板橋四の八六〇薬局斎藤真さん(五七)方など数ヵ所から計五十万円の薬品詐欺を働き、これを転売して生活費にあてていたが九月はじめニセ医者と評判が立ったので都外へ逃走、沼津、横浜でも薬局から薬品二十万円、横浜駅前のオートバイ屋から許六台、七十万円相当を詐取するなど徹底した詐欺男であった。

結核予防週間始まる

きょう二十五日から三十一日まで結核予防週間として厚生省では全国民が健康診断を行うようポスターを発行して結核予防の宣伝に努めている。都でも巡回無料診断や映画を上映してその予防に万全を期し、ことに乳幼児などの予防対策に力を入れている。

【写真は結核予防ポスター＝厚生省にて】

ミナト・ヨコハマ Yライン

②元町商店街

文 北林透馬　え 森比呂志

ハマで一番古い街

外人相手に"一世紀の歴史"

山下公園の将校さんが動かないので、かんじんの公園が利用できず、大いに日本人が困っていることは、きのう書いたとおりだが、なかにはまた反対に、大いにこれを喜んでいる日本人も一部にはいる。元町商店街のダンナ方などが、それである。

『モトマチ・ショッピング・ストリート』と、町の入口に大きなネオンの英語のアーチをかかげているが、むろんこれは外国人をかんけいしているので、殊にアメリカ軍将校家族など、その上得意なのである。ご承知のように（あるいはご承知ないかも知れないが）元町というのはヨコハマで一番古い街なのである。

ガクのあるところをカイチンいたしますと、武州は久良岐郡石川郷元村。この元村から横ッチョに砂洲がのびて出来た浜辺が横浜だから、元村のほうが横浜のご本家みたいなものだ。

従って石川なにがしという代官が元村におりまして、これが市長さんみたいなもんだったが、この元村が元町になった。横浜の浜を埋立て、外人の居留地を作ることになったんで、浜にあった五、六軒の漁師が元村に代地をもらって、これが外国人相手の日用品を売り始めたというんだから、今の元町のダンナ方は、みんな三代目四代目という古いのばかりだ。

そんなことはどうでもいいが、大正十二年の大震災で焼けてしまってからは、外国人はいなくなる、世界的不況で船は入らなくなる。アメリカと仲が悪くなってからは貿易はまるっきり駄目で、実際こんどの戦争までは、元町なんぞ全く滅亡にひんしていた。それが、戦争に負けたおかげで、ヨコハマがアメリカ軍の基地になり、アメリカ人がわんさとやってきた。

大正十二年以来、草ぼうぼうだった山手や山下町のもと居留地に、将校宿舎がどしどし建って、将校の家族たちがやってきた。喜んだのは元町のダンナ方だ。なにしろ外人相手の商売では、一世紀にわたる歴史を誇るベテランである。

ヨコハマが米軍基地になったんで、ヨコハマの復興がおくれた、なんていうヤツは誰だ、てなもんだ。米軍基地にならなかったら、今ごろ山手も、山下町も依然として草ぼうぼうで、元町なんぞバラックも建たず、そのまま消えてなくなってしまったろう。

何しろ、たいした景気だ。歩道もなく、五尺にも足りないせまい通りに、自動車ばかりウヨウヨして、満足に歩くこともできない。

これがみんな自家用車ときてるんだから、この乗入れを禁止すると、店の売上げが三十㌫から四十㌫も減る、という騒ぎだ。朝の十時と午後の四時前後が、いちばんのラッシュ・アワー。

将校のオカミさん達が買出しにくるんだが、これが喫茶店で顔をあわすと、たちまち寄り集って、エプリエプリ・ヤケリヤケリの井戸端会議が始まるところは、洋の東西を問わず、まったく日本のオカミさんと同じことである。

オンナなんてものは、まったく、利口な動物ではありませんな。

出品される『五節の舞』の古代衣裳

『五節の舞』などの古代衣裳

ニューヨークの絹製品展示会へ

【横浜発】明春一月ニューヨークの日本貿易センターで開かれる第一回日本絹製品海外展示会に出品する展示品の一部古代の衣しょう四点、現代衣しょう二点が十一月早々横浜港から積出されるが、これに先立ち二十四日午後二時横浜市中区海岸通り横浜ビル五階で披露された。平安朝時代の即位式に出席する十二単衣を着飾った貴族の娘の"五節の舞"足利時代の武家の妻の"住吉詣"や淀君の"醍醐の花見衣しょう"徳川時代の庶民の姿など総製作費百五十万円を投じ絹独得の美しさと味を出した高価なもの。

出入先を襲う

[illegible]を出せとおどし、首を絞めてこん倒させた上とよさんのはめていたHTと刻まれた結婚指輪（時価五千円）を奪って逃走したほか、川崎市浜町三人夫斎藤正一こと斉藤実(三五)同田中一(三三)らと共謀、都[illegible]

送り狼のバーテン

女給に暴行未遂

二十五日午前二時ごろ[illegible]一の七四二サービス喫茶『ウスクダラ』のバーテン[illegible]男(三二)＝同区三光町九[illegible]の女給A子さん(一七)を[illegible]宅まで送ってやると誘い、自宅付近でいきなり顔をなぐりつけ、全治三日間の傷を負わせた上暴行しようとしたが、A子さんに騒がれ未遂、四谷署に検挙された。

浅草に五人組辻強盗

二十五日午前一時半ごろ、台東区浅草田原町五七先路上で、豊島区高田南町三の二七、八百屋野村明さん(三七)はいずれも五尺五、六寸グレーのスプリングを着た五人組にとり囲まれ『タバコの火を貸せ』といわれ、ポケットに手を入れた際にメチャクチャに殴られ背広上着、腕時計一個、現金千七百円を強奪されたと蔵前署に届出た。

オートバイから転落死

二十四日夜十一時四十五分ごろ目黒区芳窪一〇先でオートバイを運転してきた大田区調布嶺町二の三七会社々長大山茂さん(三八)は酔っていたため誤ってオートバイから転落、死亡した。

吉川英治氏紫綬褒章を辞退

吉川英治氏は二十五日朝『週刊朝日』編集長扇谷正造氏を通じ田中文部次官に『第二回紫綬褒章の受賞は身分不相応なので辞退申上げた』旨申入れた。

あすのスポーツ

△プロ野球 日米親善第四戦 ヤンキース対パ・セ選抜(一時、札幌)△野球東都大学(十時、早大)全日本学生選手権(十一時半、神宮)△庭球 関東学(十時、早大)△ボクシング ダイナミック・グローブ戦（六時半王子）△女子野球（正午新宿）△競馬 浦和

独眼灯

○…伊豆下田町柿崎、坂本誠吾さん(六)＝元旭ガラス技師長＝宅の"食べられるサボテン"が本年もみごとに結実して味覚の秋の話題を賑わしている。

○…これは亜熱帯植物の多い南伊豆でもただ一本しかないという珍らしいもの――一株で二間四方に枝を張った大サボテンには、黄色で鶏卵大の実がご飯のようにみのり、この味がメロンとリンゴを一緒にしたようなスンバラしさ…

○…栄養価が高い上に、精力もつくという。坂本さんは将来どんどんふやして伊豆果実界の花形にしたいと張り切っている。（下田発）

【写真は果実界のニューフェイス、食用大サボテン】

情炎の千代田城 (279)

岩崎栄
寺本忠雄画

煙（十八）

家来が、
……！』
……の広庭へ馬蹄の音を響かし……乗り入れて来た。
八角の背後に、固唾をのんで控えている三十人ばかりの中から一人、隊長格の男が、
『敵か味方か』
きびしく咎める口調で踏み出した。
『退がって居れ』
詮房が一喝した。立派だし、涼しいような感じの声音だ。威厳が添って、なんとなく頭がさがる相手だから、一人が刀を下げて、
『どなたでござる』
『退がり居れッ』
かまわず、そのままに馬を八角と木人が必死の対立へ乗り入れた
『たわけッ。両人とも刀をおさめよ』
そして木人をうしろに、八角とその一味が芒野のように白刃や槍を構えている方に向き直ると、槍を横霞（ヨコガスミ）の構えに、
『慮外千万！ 神妙に致せッ』
と叱りつけた。さわやかな音声だ。みごとな態度だ。さすがに、木人も八角も、呆然となって、刀のさきを地面に垂れて控えた。
格別、武芸を鍛練した詮房ではない。能楽師の家に生い育って、幼少からこの道の神童といわれた達人である。槍を構えて寸分の隙もなく、白馬に跨る神将の如き威容を示すのも、いわばこれ至芸の妙境に到達しているからであろう。おそろしいものだ。それに、日本一の美男だ。
上平身を、馬の背にグイと伸び上がって、
『将軍家御名代、間部越前守詮房である』
語尾をうけて家来の一人が、
『一同のもの下に居れッ。頭（ズ）が高いッ』
と叱咤する声が全邸に冴えわたった。もはや、敵も味方も、秋霜に打ち伏さり、打ち靡く草だった。
『何が故の死闘であるか！ みだりにお膝下を騒動致して、何を血迷い居るか。何故の出火であるか。出火に紛れてのこの喧嘩は何ごとなるか。きっと糾明致せとのお上御諚なるぞ！ これッ』
馬を、平伏している八角の前に進めて、
『名乗れッ。何者であるか』
大声叱呼した。
『ヘヘッ』
八角が、平伏のまま五尺ばかりうしろに退がって、
『天下の浪人、太田川八角にござります。出火のもとも、乱刃の指揮も、悉くこの身の不所存に発しましてござります。そもそも天下のこと、すべての悪政は新井白石殿の奸悪より出ずるものと、痴愚蒙昧のそれがし、一途に独断仕り、お上の御英明をも憚らず、この言語道断に出でましたること、その罪万死と覚悟仕りましてござります』
そして、
『ごめん！』
と言って脇差を引き抜いた。キラリ！ と光ったのが、
『ウムッ』
脇腹を突き刺して、雨を起こして、烈火をうけたまっ赤な笑いで、
『天——天下将軍御万歳、万歳、万々歳』
そしてまた、
『木人先生！ ご、御介錯下さらば、一期の光栄……』
木人が立ち上がって、詮房の顔を見た。
『うむ』
頷くのをこころえて、一刀を振りかぶった。
『さらば八角殿！ 南無阿弥陀仏』

正月映画の撮影所のぞき

映画界では早くも正月作品の企画も出揃って、その幾つかはすでに製作を開始したという気の早さだが、それだけに各撮影所とも芸術祭参加作品を製作している時の気の重さとは違って、一足お先に正月気分を楽しむという気軽さえみせている。といって松竹大船では小津安二郎監督の『早春』東宝では黒沢明監督の『生きものの記録』などもいまだに仕事中とあるから、全部が全部正月気分というわけにはいかないが、とにもかくにも秋の興行合戦のヤマだったシルバー・ウィークに上映する作品を一応完成した現場の安心感はほの見えている。そこでこれら撮影所の製作状況をザッと一回りしてみると……。

荒れる"谷口台風"
『乱菊物語』で大掛りなセット

目下一番楽しんで製作しているのが大映の『宇宙人現わる』で島耕二監督以下この大空想科学映画というマジック撮影に取組んで、いかに観客の眼をごまかしてやろうかと知恵をしぼっている。そのためにはなるべく自然現象をリアルに撮ってトリックとうまくつなぎ合せようというので、つい先日の台風二十五号の日も、チャンス到来とばかりに議事堂前やら、深川東雲町方面へジープに乗って飛び出す始末だった。この作品にはパイラ人という怪しげな宇宙人やら空飛ぶ円盤、宇宙船などが出てくるし、セットにはわれわれが住んでいる地球まであるのだから、これはまったくデッカイセットである。

さて大掛りなセットといえば、東宝で製作している谷口千吉演出の『乱菊物語』で、二百坪の第九ステージいっぱいに八千草薫の扮する陽炎姫の御殿を作り、セット内の池には金魚までおよがせて、群衆撮影には延一千人以上のエキストラを動かしている。その上お話が室町時代の末期だから衣裳もきらびやかで、ちょっと見ると天然色映画といった感じ。その真中につっ立ったのが谷口監督で眼鏡を光らせて、わめいている。彼としてはこの作品だけは絶対色彩で撮りたかったらしいのだが製作費の関係でどうしても白黒でやらなければならないことになった。そこで撮影シーンが盛上がってくる度にこのことが頭にくるらしく、ともすればドナリたくなるといったものなのだろう。俳優部屋からジープに乗って八千草とのラブシーンを撮りに駈けつけた池部良もこの声をきいて録音の小部屋でストップ。折からこれも谷口台風の余波をさけて一服していた悪役の杉山昌三九と顔を見合せてニヤリ。『秋は台風のシーズンだから無理はないね―』なるほどつい昨日までは第一セットで黒沢天皇が『生きものの記録』で猛烈な台風を吹きつのらせていたのだった。

"天皇"の風格つく
『続・警察日記』の久松監督

天皇といえば今年の当り屋だったが、久松静児監督が天皇の風格を身につけてきた。日活で製作中の『続・警察日記』がそれである。セットは東北の警察内部のシーン、久松御大は机の上に大アグラでタバコを横ぐわえにしてソッポを向いている。警察署長の三島雅夫が一人芝居だが、久松天皇、ウンともスウともいわない。テストがもう七、八回も続いたのだろう、三島の『オーイ、茶をくれい』というセリフがいよいよ真にせまってきた。あれだけ同じことをいっていれば本当にお茶も欲しくなるだろう。やっと本番が終ったら三島は一息に寿司屋の茶碗くらいのコップに水を入れてゴクゴクと飲みほしてしまった。その日のカットは三島以外のあまりスターがいらないはずなのに伊藤雄之助、大坂志郎、三島耕、河野秋武、芦川いづみ、左卜全など扮装をして隅にひかえている。聞いてみたらいつ仕事になるか判らないから待機しているのだという。それでも文句をいおうとする者は一人もいない。これでは久松天皇といわれる日もさぞ近いことだろう。

キャー、ワイワイ
時ならぬ修羅場
こちらは『風流交番日記』

さてもう一つ警察ものがある。これは新東宝で松林宗恵監督が製作中の『風流交番日記』だ。しかもこっちは夜の女の狩り込みシーンをオープン・セットで撮るのだから大変な騒ぎである。二、三十人の新人女優や大部屋さんがそれらしき扮装でぞくぞく集る。一方警官側の志村喬、小林桂樹、宇津井健、新人の御木本伸介などに群衆多勢という仕組だ。松林監督の『スタート』という声でワイワイガヤガヤが始まるがこれはまた大騒動『チョット、来い』『いやーン、アタシは違う』など男と女の声が混って撮影所内は時ならぬ修羅場と化す。これを松林監督はカメラの横でニタリ、ニタリ。案外彼にはこの経験があったのかもしれない、酔客への演技指導が真に迫っていた。

その他松竹では『早春』を小津監督がジックリ撮っているし、東映では『不良少女の母』を小石栄一監督が大ロングで乱闘シーンを撮るなどあって、やはり正月気分とはいいながら撮影所は相変らずてんやわんやなのであった。

（上）『宇宙人現る』二十五号台風の日、島監督も雨具に身をかためて街頭ロケに出動、指揮に大童わ（下）『風流交番日記』新人若杉嘉津子を狩りこむ志村喬（中央）

おしゃべり横丁

天皇の全国旅行汽車賃の上らぬうちにと思いまして。
―宮内庁

歌舞伎漫語
女形の大役
河原崎権三郎

【私は】芸談をする程の役者ではない。何をやっても初役同様です。その私がこの七、八月と東横ホールで一通りの立役をやらされたのです。福岡貢、野晒悟助、小猿七之助、一寸徳兵衛、松平伊豆守、実盛、義経、勝頼といった時代と世話のあらゆる立役の途を歩んできたのでした。

その私に、こん月は『鏡山』のお初という女の大役です。もともと立役の私の柄にない役の上に、いちばん不安だったことは、先輩諸氏の舞台を拝見していないことです。しかしお初は、寿海、勘三郎さん達もやられているように立役からも出る役です。自分の立役の芸の勉強からも女形をやっておく必要があると思って不安ながらお引受けしました。

先代梅幸、先代歌右衛門氏等の型はいろいろあるが、平常の私のお師匠番の尾上菊十郎さんに一切お任せして夢中でやっています。

【私は】主人尾上への愛情と可憐さを現わすように腹に重点をおいて、お初になり切ろうと努力をしましたが、その苦しさは毎日、真夏みたいに汗でぐっしょりになってしまいます。その上こん月は、東横の朝の一番目を終えるが早いか、歌舞伎座にかけつけて『先代萩』を終るとまた東横へ時間いっぱいにかけつけてお初、治郎作、和尚吉三とみな初役で、大汗をかいています。こん月ほど掛持ちというものが舞台に及ぼす影響の大きいのを痛感したことはありません。

しかし、せっかく私に与えられた勉強の道場を、こん後の自分の成長のために有効に生かしたいという気持で励んでおります。

【写真は出を待つ『お初』の権三郎】

私のコレクション ㉑
徳利
旭輝子

それぞれ因縁つき
譲って貰えねば借りてくる執心ぶり

『（女）だてらに大変な飲んべェみたいでいやね。ほンとにあたし、そんなに飲み助じゃないんですヨ。そう書いといて下さいネ。ホントに……』静かな赤坂一ツ木町の高台、これから来月の東宝劇場『お軽と勘平』の稽古に出かけるという彼女は、寝足りた瞳をパッチリと輝かせて、愛蔵の徳利たち？ をさも宝物でもあるかのように大事そうに机の上に並べるのである。まだ数こそビックリするように沢山はないが、その一つ一つには、それぞれの曰く因縁や想い出が秘められているらしい。

『（最）初のうちはいつの間にか集まっちゃったんです。それで、そんなら一つ集めてみようと思って……』

狸がブラ下げていそうなトックリは一合、五合、一升と書いた三つの小さな舛がついて、サイコロが一つ並べてある。サイコロの目には一升、二合、一合、踊、五合の五つに？印が一つ書いてあって、サイコロを振りながら出た目の通りの舛で飲んだり、踊ったりという仕組みなんだそうだ。コケシのカップルは秋田のお土産。汽車の中で売っているお茶の器を徳利と盃に見たてた変ったのもある。ひときわ目立つ五合入りという錫製の徳利は、

『こないだ大阪へ行った時、ある飲み屋さんでみつけたんです。売ってくれといってもどうしても駄目だっていうんですヨ。だからそれじゃ貸して下さいっていってネ、とうとう借りて来ちゃった。こんど大阪へ来た時に返しますって約束なんですけどネ、当分借りとくんです。あたしのとこ、大たいお母さんが前から瀬戸物が好きだったでしょう。それであたしも小さい時からワリに興味があったんです』

（な）るほど化粧棚には洋酒の瓶の形をした小さい小瓶が三、四十も並んでいる。ただしこれは香水が入っていたんだそうだ。『お酒ですか？ 子供の頃からおトソは好きでしたし、戦争中に松竹歌劇で比島やなんかに慰問にいったでしょう。きっとその頃から飲むようになったんですネ。ビールなら三本、お酒なら五合、ジンフィーズなら五杯までなら平気ですネ。のんでも余り変らないんですって。だから自分で唇がしびれるような感じになるとやめちゃうんです。一度グデングデンになって懲りるといいんでしょうにネ』徳利を眺めながら酒の話をきいていたら、アルコールの苦手なコッチはなんだか酔っぱらったみたいな気持ちになって来た。

情感が薄く期待はずれ
（ダニロワ公演・評）

○…ダニロワ一行の東京第一夜のでき栄えは残念ながらわれわれを讃嘆せしめるような最高のものではなかった。先年フランクリン・スラヴェンスカ舞踊団の客演者として来演した時の珠玉のような天衣無縫さが今回は見られなかったからである。『白鳥の湖』のオデットにしても『ジゼル』にしても古風な格式とよくバランスのとれた型を見せてくれるが、情感の乏しい白々しいものだった。いまのダニロワはこういう深い哀愁をこめた悲劇的な役柄よりもむしろ『フィフィ嬢』や『美しきダニューブ』などの軽妙洒脱、色香のにじみ出るコミカルな役柄に名人芸を発揮できるのではなかろうか。

○…期待されたヤシンスキーも不振。結局マイケル・モールとモセリーヌ・ラーキンの『ドン・キホーテ』のハリのあるでき栄えと、ラーキンと牧阿佐美ら四人の『パ・ド・カトル』の古めかしいながら雅致のある風情など佳品といえよう。殊にモールは他の番組でも好演して目立った。共演の橘バレエ団のコール・ド・バレエは柔らかいふん囲気が出ず、足音が耳障りなこともあった。ふん囲気といえば、装置や照明が旅回り用のためかお粗末で感興をそぐこと甚だしい。（寛）

【写真はダニロワの『ジゼル』】

東横ホール十一月興行

又五郎、段四郎、福助、半四郎など猿之助吉右衛門両劇団の若手公演で、七日初日、出し物は、昼の部『車引』『賀の祝』二幕『鳴神』岡村柿紅作『茶壺』『三十三間堂棟由来』一幕、夜の部『宮守酒』一幕『園誂六三懸』『橋弁慶』長谷川伸作『長脇差試合』一幕三場。

都々逸名選
小沢扉太郎選

ビールの泡さへとっくに消えていい出しそびれた切れ話　木場・積谷三十越
日光結構紅葉の名所野山一面唐錦　日光・千代本小舟
泊るつもりについさせられて殿方のお酌で酔った夜　文京・木村いっ秋
人目忍んでお耳の掃除うつらうつらの膝まくら　栃木・岡市雄
枕が変ったせいではなくてぐっすり眠れぬひとり旅　前橋・川端柳
◇
レコがいるやらいないかしらとちょっと気になるいい芸者　選者

はと笛

▽…『東おどり』の振付けをやっている尾上菊之丞。けい古前になって持病の神経痛がぶり返しフウフウいっていたが、これを聞いたさるヒイキが『いい先生を教えてやろう』といって連れていった先が、なんと忍術の大家藤田西湖センセイのところ。

▽…そこで毎晩、甲賀流の気合と療術でエイエイとやったところ、気のせいかこれが治っちゃった。喜んだ菊之丞、よっぽど忍術が気に入ったらしく、会う人ごとに『忍術をかけてやろうか』とオドかすのでこのところ、まり千代はじめ姐さん連も戦々キョウキョウ。

【写真は尾上菊之丞】

『宝生会』流儀小謡を定む　能楽流行の折から『宝生会』では、同流を象徴する流儀小謡『七宝の光り』『五雲のゆかり』二曲を制定、三十日の同流秋の別会で発表することになった。

今晩のラジオ　25日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇ちえのポスト 柳内達生他 / 25 オテナの塔 須永宏他	05 英語会話 松本亨 / 30 受信機講座 高草木要作 / 40 やさしい科学灯台の役目	10 東西こぼれ話 高野アナ / 15 コンサート 南十字星 / 25 トニー・ショウ	00 劇『少年宮本武蔵』 / 10 劇『平将門』高橋昌也他 / 25 LPヒット・パレード	00 ポツポちゃん物語 / 15 劇『シンバの冒険』 / 30 歌小畑実 高峰三枝子他
7	00 ニュース◇天気予報 / 30 話の泉（前橋市にて）渡辺紳一郎 田付たつ子他	00 名曲鑑賞 ラヴエル作曲ピアノ協奏曲他 / 30 明日の農民 新潟藪神村	10 録音ニュース / 20 歌うパイプ・オルガン / 30 落語『妾馬』円歌	00 録音ニュース / 10 君の歌僕の歌 津村謙他 / 30 漫才クイズ『弥次喜多』	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） / 20 花のステージ金沢あさ子 / 30 歌謡クイズ司会久保田勝
8	00 青空の仲間『天高くの巻』榎本健一 島崎雪子他 / 30 民謡をたずねて（新潟おけさ他）黒田幸子他	00 ニュース / 05 教養特集 座談会『試験と人生』金森徳次郎 森田たま 石田アヤ他	00 剣に生きる人々『柳生石舟斎』東野英治郎他 / 30 歌の風車 近江俊郎 神楽坂浮子 真木不二夫他	00 家庭音楽会 司会浅倉アナ 三味線豊吉他 / 30 連続講談『徳川家康』第七十四回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 フランキー堺 築地容子他 / 30 水戸黄門漫遊記 内海突破 織井茂子他
9	00 ニュース解説 平沢和重 / 15 劇『源義経』岩井半四郎 市川段四郎 中村福助他 / 40 時の動き	00 歌劇『ローエングリン』ワーグナー作曲 木下保 笹田和子 三枝喜美子 石津憲一 藤原歌劇団他	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ / 40 劇『ホガラカさん』野添ひとみ 轟夕起子他	00 歌うバースデイプレゼント 岸井明 高英男他 / 30 ❶歌謡漫談 シャンバロー❷落語『ひねりや』円蔵	00 わたしの選曲 ゲスト細川俊夫 聴き手阿里道子 / 30 劇『吉野仏』 香川京子 宇野重吉他
10	15 虹のしらべ（タンゴ集） / 40 芸術よもやま話 高村光太郎 草野心平	00 高等学校講座❶国語 鳥山榛名❷解析 山崎三郎 / 45 気象通報	05 今日のニュース（毎日） / 15 劇『人情馬鹿物語』 / 30 ベートーベン提琴協奏曲	00 大学受験実力養成講座 和文英訳 JBハリス / 30 解析（Ⅰ）田島一郎	00 劇『南無三宝』小沢栄他 / 15 歌トニー谷 宮城まり子 / 35 劇『名月佐太郎笠』
11	00 きょうのニュース / 20 秋の歌 結城哀草果作	05 新商店読本 福沢三郎 / 20 医学の時間 岡治道	10 空中劇場『黄金』宮口精二 丹阿弥谷津子他	00 秋の夜話『英雄を語る』 / 30 アルフレッドハウゼ特集	00 スポーツ・カレンダー / 15 三味線の手ほどき

テレビ

★NHK★ ◆6・00 山口バイオリン教室◆6・30 漫画川柳風景 長崎抜天 市川三郎◆7・03 レビュー『秋のおどり』川路龍子他（国際劇場から）◆8・30 討論会『政局は今後どう動く』

★NTV★ ◆6・00 海のサブー◆6・20 映画『大空の征服』◆7・00 暮しのセンス◆7・30 劇『ああ無情』早川雪洲他◆8・00 ソ連中共見たまま◆8・40 東宝ロケ便り◆9・00 グラフ

★KR★ ◆6・00 映画『ともだち』◆6・35 サザエさん◆7・00 お笑いゲーム◆7・30 映画『千五百米決勝』◆8・30 バレエ『ペトルシカ』小牧バレエ団◆9・00 朝日TVニュース